

見上げれば、新たな橋が架かる 白岡宮代線 東北自動車道上空橋桁架設

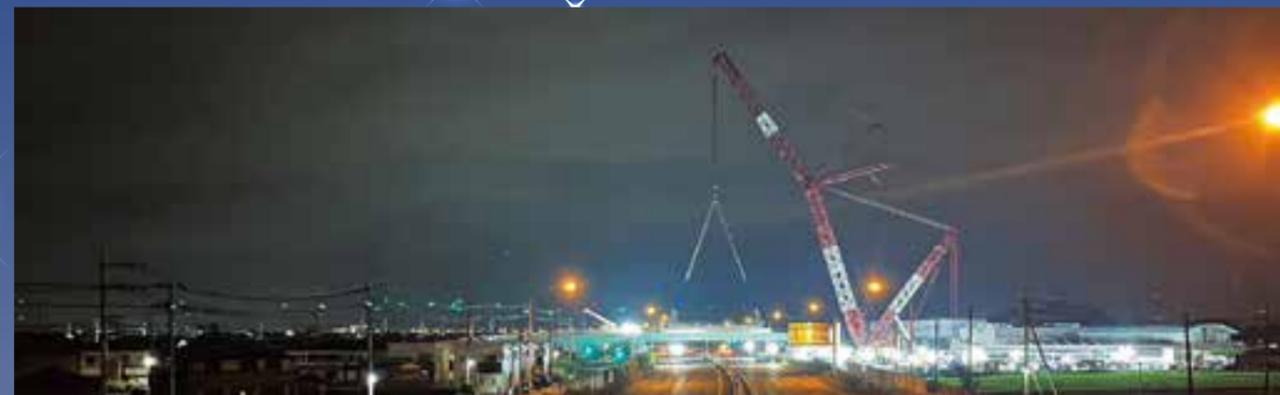
市では、都市計画道路白岡宮代線の令和7年度の開通を目指し工事を進めており、10月3日（火）の夜には、高速道路を跨ぐ橋の架設工事を行いました。

今回の工事は、日本でも数少ない大型クレーンを使用し、工事現場周辺の道路だけでなく、東北自動車道を通行止めにするなど、大掛かりな工事であったことから、工事見学場所として開放された

千駄野橋には、多くのかたが集まり、作業を見守っていました。

また、当日には、「機械・工法紹介パネル展」を、10月7日（土）には、小学生を対象に大型クレーンの試乗会を開催しました。

新たな橋が、白岡市の成長と発展を支える象徴となり、未来への扉を開いていけるよう歩み続けていきます。



大型クレーンのヒミツ



ヒミツ1 クレーンの大きさは？

コタエ 高さ約 85 m、
重さ約 1,400 t



ヒミツ2 吊った総重量は？

コタエ 重さ約 280 t
全長 43m、幅 16.8m



ヒミツ3 橋桁はどれくらいの高さまで持ち上げたの？

コタエ 電線や看板にぶつからないように約20m上空に持ち上げられました。

「工事の概要」



① 事前にクレーンで吊り上げる橋桁を組み立てておきます。



② 周辺の道路を通行止めにし、橋桁を吊り上げます。



③ クレーンを旋回させ、吊るした橋桁を所定の位置に持っていきます。



④ 吊るした橋桁を固定します。

受注者の協力のもと、試乗会が開催されました



▲ 工事当日の動画はこちら

問合せ 道路課土木担当 ☎0480(92)1111 内線214・215